【ドバイ 2019 世界パラ陸上競技選手権大会・最終日（11 月 15 日午後)】出場選手コメント

◆女子 400m　T20　決勝
・外山　愛美（宮崎銀行）
　悔しい。思う様に走れなかった。

◆男子 1500m　T52　決勝　金メダル
・佐藤　友祈(WORLD-AC)
　マーティン不在の中、僕が先頭に行くのは分かっていた。とりあえず差をつけて勝ちたいなと思った。世界記録は狙っていた。ただ、コンディションが揃わなかったら特に自分（人間）の方のコンディションがしっかりしていないので、世界記録を狙って勝ちたいとは入っていない。まずは金メダル獲得して東京パラの枠を取りに行くスタンスで今大会は入った。

大会記録はいけるだろうなと思っていた。

(2020 年東京パラまで)体の切れを戻していきたい。体重も少し落ちて、逆に鈍くなった気がする。この体重にまだなれていないのかもしれない。しっかり調整して、この体重で慣らしていくか、昨年の世界新記録を出した時の体重に戻して様子をみるかはしっかり調整していきたい。

・上与那原　寛和（SMBC 日興証券）　銀メダル
　メダル独占を思っていた。最後、良い形で勝負できたのが良かったのではないか。
　タイムはこんなもんでしょう。

　伊藤選手はプロだなと感じた。レース展開など頼りになる。

・伊藤　智也(バイエル薬品)
　（今大会 3 つ目のメダルに）いやぁうれしいですね。最後はさすがにたれるよね。あんなに引っ張ったら。でも１・２・３が至上命令だったので良かったです。